

平成28年度 第4回豊能町教育委員会会議（7月定例会）会議録

日 時： 平成28年7月27日（水）午前9時30分～

場 所： 豊能町役場（2階）大会議室

出席者：	教育長	石塚 謙二
	教育委員	岸本 恵子（教育長職務代理）
	教育委員	太田 佳子
	教育委員	川村 新
事務局：	教育次長	板倉 忠
	教育総務課長	塩山 博之
	教育支援課長	小田 恵美子
	生涯学習課長	小嶋 均
	教育支援課子ども支援室長	川西 弥生
	教育総務課課長補佐	入江 太志
	教育総務課主査	奥 文彦

傍聴者：1名

会議次第

1. 議長（教育長）あいさつ

2. 議 事

審議事項

- ・第5号議案 平成28年度豊能町要保護準要保護児童生徒の認定について
- ・第6号議案 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果に関する報告について
- ・第7号議案 平成29年度使用小中学校教科用図書の採択について

3. 各課、室の報告について

開会 午前9時30分

1. 議長（教育長）あいさつ

議 長：本日の出席者は4名である。過半数に達しているので、ただいまから7月度の定例会を開会する。会議録署名人を岸本教育長職務代理にお願いする。

## 2. 議 事

議 長：本日は、審議事項3件を議題とする。

議 長：第5号議案は、対象世帯の所得や生活状況など個人情報を多く取り扱うので、豊能町教育委員会会議規則第5条の規定により秘密会として審議したいと思う。

(委員：全員異議なし)

議 長：全員異議なしと認めるので、第5号議案は、秘密会とする。

議 長：それでは、第5号議案「平成28年度豊能町要保護準要保護児童生徒の認定について」事務局より提案説明を求める。

事務局：(第5号議案について、議案書「平成28年度豊能町要保護準要保護児童生徒の認定について」に基づき説明)

(質疑応答)

議 長：質疑を終結する。提案のあった第5号議案「平成28年度豊能町要保護準要保護児童生徒の認定について」賛成の方の挙手を求める。

議 長：挙手全員である。よって、第5号議案は可決された。第5号議案の審議が終了したので、秘密会を解く。

議 長：次に第6号議案「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果に関する報告について」事務局より報告を求める。

事務局：「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条第1項の規定に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、報告するものである。

内容については、平成27年度に執行した事務事業のうち教育委員会事務局の目標設定により重点的に取り組んだ12項目について行った。点検評価は、それぞれの事務事業の概要、目標、取り込み状況と結果、残された課題と今後の対応について記載したものを調書としてまとめた。

また、同条第2項の規定により学識経験者による意見を報告書に記載した。

この報告については、町議会9月定例会で報告し、公表する予定である。

議 長：12項目の調書の概要は。

事務局：(資料に基づき説明)

①中学校給食委託事業

平成26年から開始している事業で、全員喫食を目標としている。課題は残さ量の増加である。対応策は汁物の代替として納豆、ふりかけ等に切り替えた。

②小学校園所給食調理委託事業

財政健全化推進プランに基づき、給食調理業務を順次民間委託するものである。平成26年度から一部実施し、平成28年度ですべての学校園所で実施することとなる。

③小中一貫教育等の推進の取り組み

小中一貫教育等充実検討委員会を設置し、小中一貫教育等に向けた課題を審議し、答申を行った。

④地域と共につくる安心安全な学校

地域の方々の多方面の支援により学校運営を行っている。課題は、学校運営に必要なとなる地域の人材の確保である。

⑤学校教育の充実(学習指導)

平成27年度から町教職員研修指導員派遣事業を開始し、学校現場で経験豊富な者を派遣して若年層教員の育成を行った。

⑥学校教育の充実(生徒指導)

いじめ、不登校対策として、学校等支援員を派遣した。年度後半には活用する場が増え、最終的には小中全校に派遣した。

⑦安心できる子育て支援の充実

「心の相談」として生活や子育てなどの不安について、心理の専門職が相談に応じる場を設置した。また、一時預かり事業を開始し緊急時の保育の提供を行った。家庭支援の充実を図ることにより、子育て困窮世帯の把握につながっており、このような家庭に対して、他部署と連携しどのように支援するかが課題である。

⑧生涯学習の推進

社会教育関係団体間のつながりや連携の推進が課題となっている。それぞれの団体活動が団体内部で完結しているため、今後、団体間、住民間との連携につなげていきたい。

⑨生涯スポーツの推進

高齢者のスポーツ人口の増加に伴うニーズへの対応や施設の老朽化が課題となっている。

⑩文化・芸術活動の振興

冊子「豊能町の石の文化財」の作成やNHK公開講演会を行った。課題は、町内に所在する未調査文化財の把握と適切な保護措置、文化芸術事業の住民による自主的活動団体の育成である。

⑪青少年の健全育成

子ども対象事業の参加者が、すべて参加する子とまったく参加しない子に二極化していることへの対応、また、各地区の子ども会組織が縮小していることへの支援が

課題となっている。

⑫図書館運営事業

指定管理者制度導入について検討を始めている。図書館運営における指定管理者制度の長所、短所の分析が課題である。また、さらなる図書館広域利用の検討も進めており、北摂地区の利用区域拡大を進め、最終的には大阪府下全域を目標としている。

委員：「①中学校給食委託事業」の給食残さ量の推移は。

事務局：平成26年度は27.4%、平成27年度36.7%である。

委員：「②小学校園所給食調理委託事業」の経費削減効果は。

事務局：一部は今年度からの実施校もあるが、先行実施校での比較では、概ね1,000万円程である。委託化による経費削減だけではなく、調理員等町職員の定員見直しに寄与する面もある。

こども園、保育所については、栄養士の配置、確保が課題となっている。

議長：調理委託業者の職員が、学校長の指揮命令系統から外れることとなるため、管理監督について対応検討していただきたい。

委員：「⑦安心できる子育て支援の充実」の保護者向け講演会は内容も先進的だが、小学校世代でも有用に思われる。このような取り組みを就学前から小学校入学後にかけてどのように連携していくのか。

事務局：この講演会は初めて集団生活に入る子どもとその保護者を対象にしたものであるため、小学校世代と連携を意図したものではない。ただし、他の事業では、小中学校世代ともに行うものも予定している。

委員：「⑩青少年の健全育成」の課題への対応は。

事務局：子ども対象事業の参加者の二極化については、以前から同様の傾向があったと認識しているが、現在は少子化もあって参加総数が減少したことで、より顕在化してきた感がある。子ども会組織の縮小については、少子化だけではなく保護者が役員就任を敬遠して入会しない事例もあるので積極的な参加を促すよう支援していきたい。

委員：調書の各事業個々の取り組みはよいが、全体としての連携が弱いと思う。この調書は教育委員会所管事務の点検評価報告であるが、町全体として点検評価できる場があってもいいと思う。

子ども対象事業の二極化については、学校教育の一環として、一度、いずれかの事業に参加してみるのもよいのではないか。

委員：子ども対象事業の二極化については、子どもだけではなく、保護者をいかに引き付けるかが重要である。申し込みしやすい環境づくりの工夫をお願いしたい。ユーベルロビーコンサート等の事業の開催日時も同じ曜日、時間の固定ではなく、一部変更することにより従来時間帯で参加できなかった人が参加できるようになるかもしれない。

議長：質疑を終結する。提案のあった第6号議案「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果に関する報告について」賛成の方の挙手を求める。

議長：挙手全員である。よって、第6号議案は可決された。次に第7号議案「平成29年度使用小中学校教科用図書の採択について」事務局より提案説明を求める。

事務局：(資料に基づき説明)

「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」第14条の規定により、平成29年度は、平成28年度と同一の教科書を採択するものである。

(質疑なし)

議長：質疑を終結する。報告のあった第7号議案に賛成の方の挙手を求める。

議長：挙手全員である。よって、第7号議案は可決された。それでは続いて、前回定例会以降の事務局各課・室について報告を求める。

事務局：○大阪教育大学との意見交換会について

○教員採用試験について

○町村教育委員会連絡協議会研修について

○保幼小中一貫教育推進会議について

○「本のソムリエ」認定講習会について

○豊能町教職員夏期研修会について

○「育児の日」について

○スポーツセンターシートス指定管理者の公募について

○図書館広域利用について

○図書館開館30周年記念事業「思ひ出アーカイブ」について

○ユーベルホール自主事業について

委員：毎月行っている「育児の日」の参加が多数であるが、誰が企画立案しているのか。

事務局：各施設実施分は、各施設の子育て支援コーディネーターが行っている。講師選定については、地域で活動されている方を講師で迎える関係上、なるべく同じ方が重複しないようにしている。子育て支援センター実施分は、職員が行い、子ども向けの内容に偏らないよう、父親向け、三世代向け等幅広い内容で実施している。  
その他、参加者の増加については、全戸訪問やスマートフォンへの通知等の効果が大きいと思われる。

委員：企画の内容だけでなく、このような取り組みにより効果が出てきている。

事務局：いもほり等、他部署と連携した企画も徐々に増やしている。

議長：図書館開館30周年記念事業「思ひ出アーカイブ」については、民俗学的手法を採るとのことだが。

事務局：民俗学的手法では、文献や歴史の記録にない市井の人々の話を真贋問わず採取するもので、今回の事業はこの手法で行うものである。

議長：報告は以上である。これで本日の日程は終了でした。

次回以降の教育委員会会議の日程は8月度、8月22日（月）午後4時開催予定とする。これで本日の教育委員会会議を閉会する。

閉会 午前11時10分

以上、会議の次第を記し、これを証するためここに署名する。

平成28年 8月22日 署名

豊能町教育長

石塚 謙二

会議録署名人

岸本 恵子